



よいた

町だより 町長川上文平

No.105

3月号

昭和50年3月10日 ■発行/与板町 (代表者 与板町長川上文平) ■編集 与板町だより編集委員会



あたらしい庁舎の玄関です

人口の動き
2月28日現在
()は1月末との比較

人口	7,850人 (+6人)
男	3,817人 (+2人)
女	4,033人 (+4人)
世帯	1,785 (±0)
出生	11人
死亡	3人
転入	5人
転出	7人

郵便で投票ができます
..... 2

統一地方選はじまる..... 2

春の火災予防運動..... 3

優良農家を表彰..... 3

新庁舎のあんない..... 3

社教コーナー..... 4

きょうは一年生..... 4

心配ごと相談所..... 5

税金あれこれ..... 5

ポストコーナー..... 5

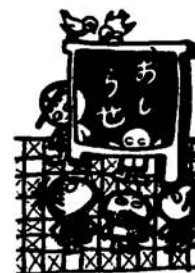
おしらせ..... 6

おもな内容は

保健衛生だより

- 3月24日 13時30分から15時
乳児検診 母子センター
対象者 S.49. 4. 2～S.49. 9. 30迄出生児
- 4月3日 13時30分から14時30分
種とう 母子センター
対象者 S.48. 6. 1～S.48. 12. 31迄出生児
- 4月7日 13時30分から15時
2才児検診 母子センター
対象者 S.47. 5. 1～S.47. 10. 31迄出生児
- 4月8日 13時30分から15時
母親学級(前期) 母子センター
- 4月10日 13時30分から14時30分
種とう判定 母子センター
対象者 S.48. 6. 1～S.48. 12. 31迄出生児
- 4月16日 13時30分から15時
乳児検診 母子センター
- 4月18日 13時30分から15時
一般健康相談 母子センター

住宅建設の資金融資制度
説明会があります。
住宅金融公庫で行なっている住宅建設の公的資金貸付けについて、次のとおり説明会が開催されますので希望の方は多数御出席ください。
※出席者の資格は問いません。
●開催日 三月二十五日(金)
●開始時刻 十三時三十分
●会場 長岡市表町一丁目(平潟神社前)長岡建築



●説明内容
一、個人の住宅建設及び改良資金(自宅を新築・増築・修繕をされる方に対する公庫及び年金福祉事業団の貸付け)
二、分譲住宅(分譲住宅を購入されたい方に対する住宅供給公社で行なう公庫の融資付き分譲住宅)
三、店舗付住宅建設資金(店舗付住宅を建設される方に対する公庫及び県住宅供給公社の貸付け)
四、社宅・寮の建設資金
五、賃貸住宅建設資金

●困りごと相談所をはじめ
このほど、与板警察署に「困りごと相談所」が開設されました。
日常生活上の騒音・悪臭などの公害問題をはじめ、交通問題やその他モロモロの苦情や悩みごと、困りごとの相談に応じ、問題解決に当ることになっています。どんな小さなことでも、お気軽に相談にきてほしいとのことです。
血液の代金が無料になりました。
献血はだれにもできる身近かな奉仕。
昭和四十九年四月一日以降に輸血を受け、その血液代金(自己負担金)を医療機関に支払った場合、日本赤十字社がその自己負担分をお支払いし、実質的に血液代金を無料とし、献血さ

14,884円

バン格拉デッシュ 見舞金として 与板中学校生徒会より

早速、日赤県支部へ送りました。
たいへんありがとうございました。

れた方々の善意を広く及ぼそうとするものです。
●支給対象血液は.....
健康保険が適用される血液
●申請方法は.....
用紙は、医療機関、血液センターの窓口にありますので、必要事項を記入し、輸血を受けた医療機関の証明を受け、輸血を受けた方の住んでおられる血液センターに、なるべく早くお出し下さい。
●支給額は.....
血液代金のうち社会保険各法などの法令によって支払われる額を控除した自己負担額となります。
●その他
申請の手続き、その他ご不明のことがありましたら近くの血液センターにお問い合わせ下さい。
●事務取扱機関
新潟県赤十字 血液センター
新潟市関屋下川原町 一丁目三の十二
電話 二八二五八八五

とじて保存して下さい

郵便で 重度身体障害者



『投票は
あなたが行う政治です。
棄権しないで責任ある
正しい一票を』

体が不自由で動けなくても、大切な一票だけは投じたい。こんな、重度の身体障害者の方々は、郵便で不在者投票ができることになりました。

いつから

三月一日以降に告示される選挙から。当町では、四月十三日に予定されている県議会議員選挙からになります。

どんな人が
別表に該当する人

町別の選挙管理委員会から「郵便投票証明書」をもらってください。申請書は選

選挙管理委員会にありますが、本人が署名して手帳を添え提出してください。提出は代理人でもけっこうです。(いつでも受付けています。)

この証明書は四年間有効ですから大切に保管して下さい。

① 投票の方法は 次のような順序です。
投票用紙、投票用封筒

② 投票用紙の交付—選挙管理委員会では、請求があればすぐに(告示後に)投票用紙と投票用封筒を直接本人あてに郵送します。

③ 投票—交付を受けた選挙人は、自分で投票用紙に記載して、投票用封筒に入れ(ここにも署名)さらにほかの適当な封筒に入れ封をして投票在中する旨を書いて、必ず郵便で送付してください。

手帳の種類	障害の種類	障害の種類	障害の種類
戦傷病者手帳	心臓・じん臓もしくは呼吸器の障害	一級もしくは二級	一級もしくは二級
両下肢もしくは体幹の障害	両下肢もしくは体幹の障害	二級	二級
心臓・じん臓もしくは呼吸器の障害	心臓・じん臓もしくは呼吸器の障害	三級	三級
特別項症から第三項症まで	特別項症から第二項症まで	特別項症から第三項症まで	特別項症から第三項症まで

統一地方選挙始まる

4月13日は⇒
新潟県議会議員選挙の投票日(予定)
与板町長選挙の投票日(予定)
4月27日は



町長選挙は記号式投票です。(点字投票と不在者投票は記号式。記号式投票については後日チラシでくわ

◆選挙権のある人は
三月十七日現在、県内に引き続き三カ月以上住所を有する人、選挙期日に満二十歳に達する人です。
ただし、昭和四十九年十二月十七日以後に、県内の他の市町村から転入された人は、前の住所地で投票又は投票日の前日までに不在者投票をする事になりません。この場合いづれも当町の証明が必要ですから、役場の証明が必要になります。

◆投票日に投票できない人は不在者投票を
投票日に所用等で投票できない人は、投票日の前日までに不在者投票ができます。不在者投票はその理由を書いた宣誓書を提出することになっています。

◆用紙は選挙管理委員会に用意してありますから、忘れずに投票をしてください。

◆選挙権のある人は
四月十五日現在で引きつづき三カ月以上与板町に住所を有する人、選挙期日に満二十歳に達する人です。町の選挙の場合は住所を他市町村に移されると行使できません。

ヘルメットを必ずかぶろう

ヘルメットをかぶらないで事故を起こした人の負傷率、死亡率は、ヘルメット着用者の二倍以上といわれています。

また、頭部の負傷が死亡事故につながるケースが非常に多いことは、統計上も明らかになっています。計上も二輪車に乗るときは必ずヘルメットをかぶるように習慣づけましょう。

◎ヘルメットの正しい選び方
乗車用のJISマークの入ったもの
かぶって重く感じないもの、圧力感のないもの
ひざしと帽体が衝撃時にはとれるもの
一度でも大きな衝撃を受けたものは、外観に傷がなくても使用しない。

◎ヘルメットの正しいかぶり方
あみだにかぶらない。(ヘルメットが頭に合っていない)
目深にかぶらない(視界を悪くする)。
あごひもは、しっかりとしめる(事故とのきへルメットが飛ばされる)。

春の火災予防運動始まる

防火思想の高揚、普及徹底を図るため本年も恒例により春の火災予防運動が実施されます。当町では次の重点事項を定め「無火災の町」を目ざして運動を進めてまいります。

火
ア、火気使用場所の点検の習慣づけ。
火気使用設備、器具の使用前の安全点検、使用後の消火確認と周囲の整理整頓の励行
イ、外出、就寝前の火の元点検。
外出中の火災は発見が遅れ、大きな火災になりやすく、また夜中の火災は人命損傷の危険が大きい。
ねる前には必ず火の元の点検を行なう。
ウ、老人、幼児、病人の就寝場所の点検。
老人、幼児、病人については、各家庭において就寝場所の点検を行ない、避難

しやすい場所に就寝させ、また、火災時に安全に避難できるように家族で話し合い、避難経路を決めておく。
エ、寝たばこの防止
毎年火災原因の上位にある「たばこ」は四十九年は第一位を占めました。
寝たばこ・たばこの投げ捨ては絶対にやめる習慣をつけましょう。
二、山野の防火
行楽期をむかえ、多くの人が野山に山菜とり、ハイキングに出かけることが予想されます。
入山の時は次の点に充分注意して野山での火災をなくしましょう。
ア、たばこの投げ捨ての防

止
イ、たき火の跡始末の徹底
三、消火器の設置と使い方の徹底
初期消火に最も効果があり、また簡便なものであるとして消火器があります。
消防本部ではこの期間中に「一般家庭の消火器あつせん」と「消火器の使用、取扱い訓練」を予定しています。

第3分団に お目見え 新鋭消防車



火災の消火は一秒をあらそうものです。一秒でも早く消火活動にあたられば、それだけ火災の拡大を抑えることもできます。損害の程度も軽くなります。
町では、消防団の機動力増強のため第三分団(南中・中田地区)に当初の小型動力ポンプ付積載車(写真)を配置いたしました。

又先月まで分室で行っていましたが「心配ごと相談」と「行政相談」の部屋も本庁に移しました(二階)。
しかし、学校を改装した点でご不便を感じられることもあると思いますが、各位の御意見をお聞かせいただき、一層便利な、親しまれる役場に行きます。

三月三日から 新庁舎で執務を開始

昨年から、旧小学校の鉄筋校舎の改造を進めてまいりましたが、工事は予定どおり進み、一部の外装工事を残し完成しました。
庁内での各課の配置は別図のようになっていきます。いままでより、玄関が広く、明るくなりゆったりとした気分です。お聞きください。

最優秀賞には丸山さんが 優良米作農家を表彰

与板町農業振興協議会では、毎年米作優良農家を表彰してきましたが、ことしも十二名の方々を表彰いたしました。

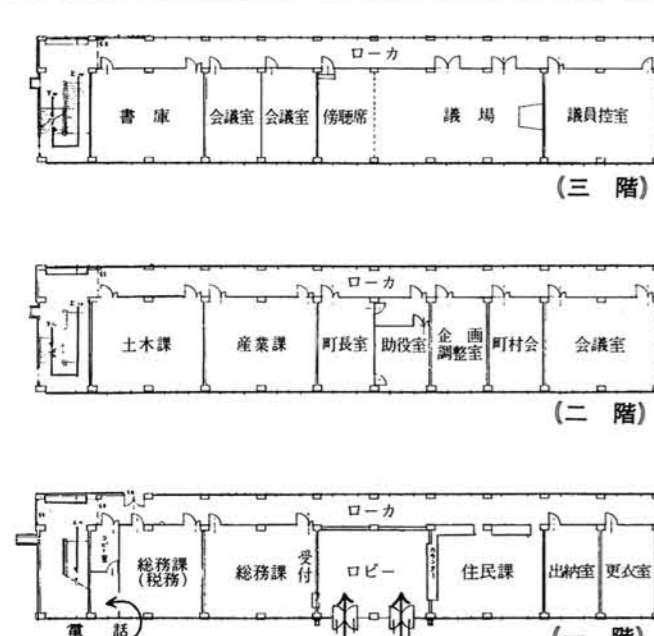
- 受賞者は次のとおりです。
(一部) (敬称略)
最優秀賞 (総出荷量百一俵以上)
丸山 昭八(滝谷)
優秀賞
吉村 寅七(柳ノ町)
山田 昭治(原)
優良賞
石橋 三千夫(葛都)
山田 誠一(楨原)
高橋 正松(葛都)



- (二部) (総出荷量五十〜百俵)
石橋 三千夫(葛都)
山田 誠一(楨原)

今年のは作柄がよく史上三番目の豊作であり、また品質においても上位等級米出荷比率八九・三パーセントと近年にない成績でした。今後ともよりよい品質米の生産を目指して、精進していただきます。

優良賞
田中 又市(本与板)
山田 ミヨ(楨原)
荒木 敏雄(岩方)
居畑順太郎(柳ノ町)
小林 リカ(柳ノ町)
受賞者の平均耕作面積は百四十一アール、出荷量は百二俵でした。





ポストコーナー

『ゆうゆうローン』の上手な利用法

「ゆうゆうローン」の愛称でなじまれてきた郵便貯金からの貸付けは、貯金を殖やしながら使える便利なローンとして、この1年間に350万件・2,000億円に及ぶ多くの利用をいただいております。せっかくの貯金をおろさなくてもすぐ間に合うゆうゆうローンの上手な利用方法を研究してみませんか。

一例をあげますと、次のとおりとなります。

【例】2年間預ける予定で定額貯金したが、4カ月たって急に10万円のお金が必要になりました。

【ゆうゆうローンを利用した場合】

10万円を6カ月借りました。貸付利率は6.25%ですから、利息は3,125円となります。貯金は2年たっておろしたので、受取利息は16,424円となり差引き13,299円となります。

【借りないでいったんおろし、6カ月後に再預入した場合】

最初預けてからおろすまでの4カ月分の利息は1,250円、再預入した貯金の利息は1年2カ月分で7,760円となり、受取る利息は合わせて9,010円となります。

【おトクになる金額】

この例の場合をくらべますと、借りた場合の方が4,289円(13,299円マイナス9,010円)のおトクになります。

心配ごと相談所とは

新しい年度を向え、国県でも町でも福祉施策の活ばつ化に腐心していられます。とりわけ老人身心障害等が重点とされ、きめ細かい行政の手は打たれるのですが、その上にも、なお、行届いた法の温みにお手伝いするのが民生(児童)委員の役目なの

心配ごと相談室が変更になりました

今度相談室が新しい役場庁舎の一室になりましたので、各課に尋ねたり、連絡したりする場合など都合よく、従来より迅速な措置が得られ、ムード的にも期待してあります。相談内容は部外秘密扱いです。安心してお気軽にご利用下さるようお願いしております。

相談員 田村記



税金あれこれ

国税に対する納税者の不服を審査する機関に、国税不服審判所があります。そのあらましを紹介しましょう。

《税に不服のあるときは》

一、税務署から更正や決定を受けた後、財産の差押えを受けた場合など、その処分が納得出来ないときは、更正、決定の通知を受けた日や、差押えを受けた日から二カ月以内に書面で「異議申立て」をすることが出来ます。

正しい計量を行わない、取引や証明を正確にするために、取引などに使われる計量器は、定期的に検定をうけなければならぬことになっていますが、どんな計量器もはじめの精度を永く維持することは不可能です。そのため計量法(昭和二十六年)では取引または証明に使用している計量器については、都道府県知事が行う定期検査を受けなければならないことを規定し義務づけています。

杜教コーナー

二月十六日、町民スキーの日のやってきました。いつもより早く目が覚め、時計を見たらず五時だった。雪が降っていた。まだ早いので、六時まで寝ようと思ったがなかなか寝れない。七時半にお父さんと公民館に行った。

僕達は晴ればいいのにと思ってた。僕は一年に一回の町民スキーだから何回もすべった。ころんで雪が顔についてとてもつめたかった。人とおつかってころんだりした。楽しいのか痛いのかへんな気持ちだった。そうこうしているうちに帰る時間になった。僕はもう少し

午後からは晴れ間もでてきた。僕は一年に一回の町民スキーだから何回もすべった。ころんで雪が顔についてとてもつめたかった。人とおつかってころんだりした。楽しいのか痛いのかへんな気持ちだった。そうこうしているうちに帰る時間になった。僕はもう少し



青空の広がるよい天気。めぐまれた二月十九日、いよいよ新一年生となる子供達の一日入学がありました。

安をのぞかせている父兄の顔、さあ、この子供達の出発です。みんなでいっしょに導いて行ってやりましょ

★通帳に託した善意★

新しく小学校へ入学する児童に、昭和四十二年から実に八年間も貯金通帳を贈りつづけていられる人があります。その人は、上町の「高橋ヨシ」さんです。

高橋さんの灯された善意が、大きく育つ子供さん方の確かな道しるべになっていることでしょう。

町民スキー大会に参加して



すべりたかった。けれども町の人達とスキーをはずし。スキーを係の人にあげてバスに乗った。中学生

二月十六日、五日町スキー場に行く、「スキー」と言えば若い人達の集い、そんな先入観の私が会に参加させて頂きました。娘の仕度をそっくり身に装い、スキーを肩にした姿は如何にもうまいスキー選手に見える事でしょう。



出雲崎・和島の電話がダイヤル式になりました。市外局番につづいて加入者番号をダイヤルすることになります。

公衆電話を大切に。硬貨以外のものを入れないでください。きめられた硬貨以外では通話できませんし、故障の原因になります。